

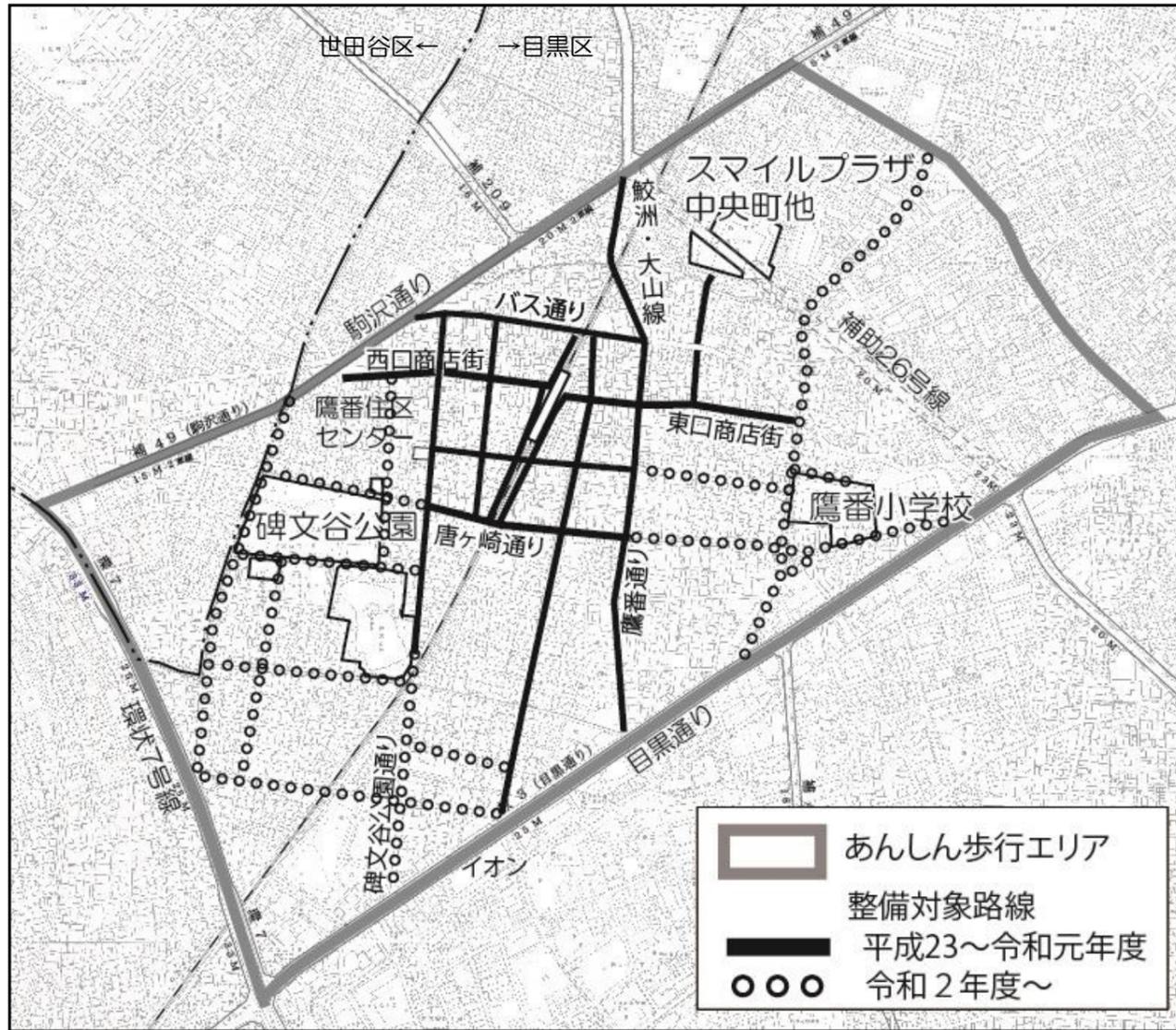
1 学芸大学駅周辺地区の交通安全対策

区は「あんしん歩行エリア形成事業」を進めています



区は、「学芸大学駅周辺地区整備計画」等の柱の一つである“交通安全対策”として、平成23年度から『あんしん歩行エリア^(※)形成事業計画』を進め、順次整備工事を実施しています。

※「あんしん歩行エリア」：国土交通省と警察庁が総合的な安全対策を進める地区として選定したエリアのことです。



問い合わせ先：目黒区都市整備部都市整備課街づくり調整係
電話 5722-6846

2 交通安全対策の整備工事について



碑文谷公園周辺における歩行者の安全確保を目的に、令和2年8月～11月に整備工事を行いました。

- (A) 路側帯（歩行空間）の「カラー化」による歩行空間の明確化
- (B) 交差点のカラー化や交差点手前での「強調表示」、イメージ狭さくの設置等による車のスピード抑制
- (C) 交差点における横断歩道の改良
- (D) エリア入口における「あんしん歩行エリア」の標識 ★ 及び文字表示



- (C) 交差点における横断歩道の改良
- (D) エリア入口における「あんしん歩行エリア」の標識 ★ 及び文字表示



裏面(3,4)へ→

3 自転車の押し歩きなどにご協力をお願いします！



《押しちゃりキャンペーン》 商店街が主体となった街づくりの取組

商店街が中心となった『学芸大学街づくりの会』は、人と自転車、自転車同士の接触事故防止に向け、平成26年10月より『安全な自転車の利用マナーを知ってもらい守ってもらう』ため「押しちゃりキャンペーン」を定期的に実施しています。

毎月初めの月曜日 午後3時から4時（平成29年7月より）
※新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ実施するかどうか判断しています。

また、春と秋の全国交通安全運動期間中には、対象範囲や時間帯を拡大した大規模なキャンペーンを実施しています。

昨年秋の「規模拡大！押しちゃりキャンペーン」は、9月29日（火）に新型コロナウイルス感染拡大予防対策をして規模を縮小して行いました。多くの方が呼びかけに応じて自転車の押し歩きにご賛同いただきました。今後ともご協力をお願いします。

商店会関係者、地元住民（町会）、東急電鉄、東急ストア、碑文谷警察、学校関係者（PTA）などが参加しました！！
〈主催：学芸大学街づくりの会〉



《合同パトロールの実施》 商店街が主体となった街づくりの取組

学芸大学商店連合会は、学芸大学駅周辺商店街における道路適正利用の啓発、商品や看板のせり出しなどの是正指導を、警察、商店街、目黒区の三者で、定期的に行っています。

昨年12月10日に合同パトロールを行い、放置自転車の撤去もあわせて実施しました。



目黒区のすまい・まちなみに関する支援・助成があります。

助成項目	助成内容	問い合わせ先
地域街づくり条例	自分たちで主体的にまちづくりを考えるグループに専門家派遣や会場費・消耗品費の一部	都市整備課街づくり調整係 TEL:03-5722-6846
雨水流出抑制施設	個人が所有する住宅等で雨水浸透施設（浸透ます、浸透トレンチ、雨水タンク）の整備の一部	都市整備課開発係 TEL:03-5722-9715
みどりのまちなみ助成	道に面した生け垣などを新設する費用の一部	みどり土木政策課 TEL:03-5722-9359
空家適正管理助成	空家の所有者等が適切な管理を行うための、管理委託と樹木せん定費用の一部	都市整備課空家対策調整係 TEL:03-5722-8692

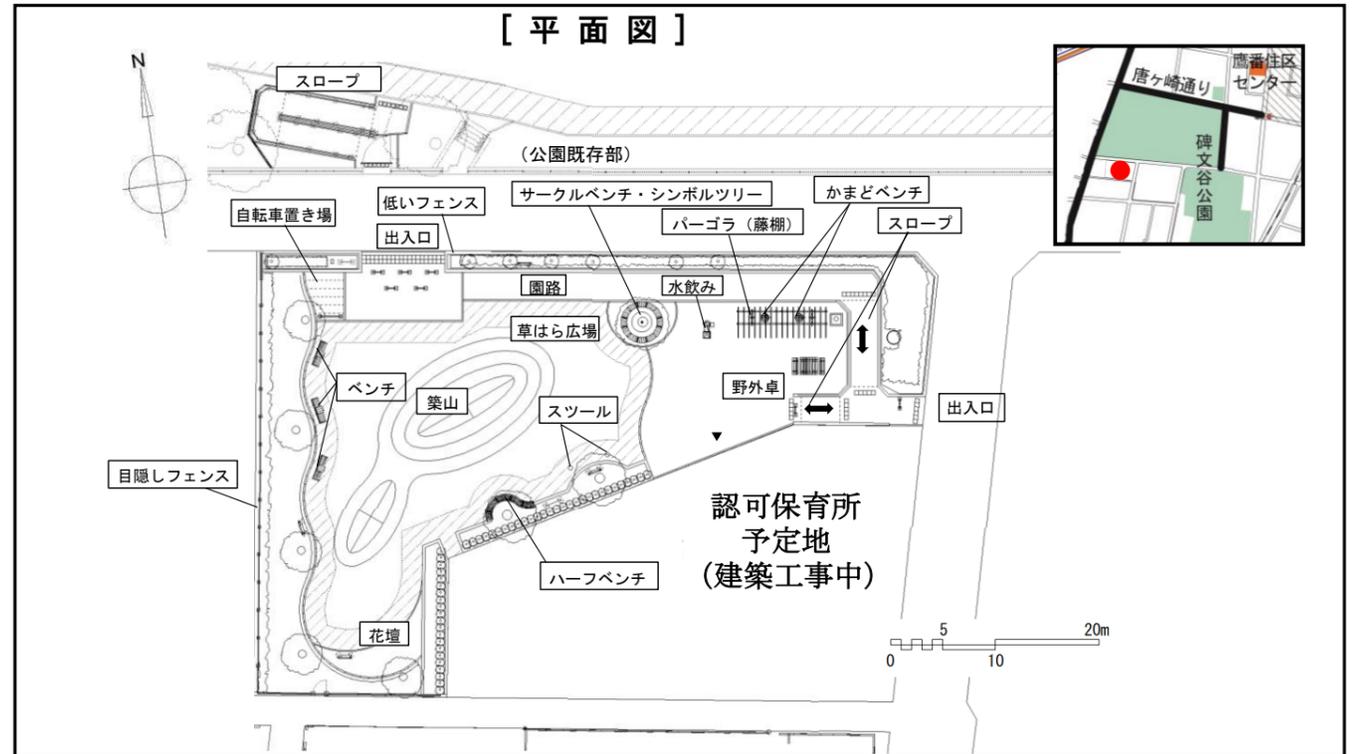
- このほかに建築物の耐震化、危険なブロック塀の除去、緑化等の助成、家賃助成、居住支援、住宅リフォーム助成等があります。条件や内容など詳しくは区にお問い合わせください。
- 「目黒区自転車の安全な利用の促進に関する条例」が昨年10月1日に施行され、自転車損害賠償保険等加入が義務となり、ヘルメットの着用が努力義務となりました。（ヘルメット購入補助があります。）

4 碑文谷公園（碑文谷公園旧公園事務所跡地）の整備を行っています！



平成28年度から地域の方々と検討を重ねてきた碑文谷公園旧公園事務所跡地の北西側約1,010㎡で公園整備工事を行っています。

ベンチ、花壇、草はら広場、築山などの整備を予定しています。



5 目黒区は、無電柱化推進計画を策定しました！

区は、災害の防止、安全で快適な交通の確保、良好な景観形成を図るため、基本的な方針、優先的に無電柱化を行う路線及び施策等を定めた「目黒区無電柱化推進計画」を令和2年8月に策定しました。

今後、この計画に基づき、総合的、計画的に無電柱化を推進します。

- 基本方針1：無電柱化を優先的に進める路線を選定し効率的・効果的に無電柱化を進める
- 基本方針2：効率的な整備方式の活用について検討し、道幅の狭い道路の無電柱化を進める
- 基本方針3：新たな整備手法を活用し、整備コストの縮減、工期の短縮を図る
- 基本方針4：まちづくりにあわせて地域住民等との協働により無電柱化に取り組む

【参照先：目黒区ホームページ】

目黒区 無電柱化

検索



なお、令和2年10月に開催した地元住民等からなる「学芸大学駅周辺地区懇談会」では、「東西商店街の安全性確保のため無電柱化について考えていきたい」と意見を頂きました。